

代表質問

京都市議会 2022年5月 定例会



5月23日(月)、京都市議会の本会議において、公明党京都市会議員団を代表して質問しました。

《主な質問内容》

①物価高騰から市民生活を守り支える支援策の推進について

②グリーンケアについて

※グリーンケアとは、深い悲しみ、悲嘆といったつらい心情を理解し、回復へ寄り添い、サポートをすること。

③子どものための文化芸術施策の推進について

④だれもが遊べるインクルーシブな公園・遊具について

※インクルーシブな公園・遊具とは、障がいのある人もない人も一緒に遊べる遊具等を備えた公園。

実現!

2021年9月議会で求めた、「電子書籍サービス」の導入決定

京都市立図書館は、スマートフォンやタブレットなどを使い利用できる「電子書籍サービス」の運用を、2023年2月より開始します。

図書館へ来館せずにサービスを受けられる環境の整備とともに、青少年などこれまで利用の少なかった

世代の利用促進や「読書バリアフリー法」の施行を踏まえた視覚に障がいのある方等に対するサービスの提供など、図書館サービスの一層の利便性向上が期待されます。



新型コロナウイルス感染症に関する各種相談窓口

京都市新型コロナワクチン接種コールセンター

050-3310-0371
0570-040808

京都市新型コロナワクチン接種ポータルサイト

<https://vaccines-kyoto-city.jp/>

発熱症状などのある方の相談
きょうと新型コロナ医療相談センター

075-414-5487
(24時間)

ワクチンの副反応等の相談
京都新型コロナワクチン相談センター

075-414-5490

きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル

075-414-5338
(年中無休24時間対応)

新型コロナワクチン接種そのものについてのご不明な点は「厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター」(TEL0120-761770)へお問い合わせください。

各種相談窓口をご利用ください

京都市政の情報、各種手続きなど
京都いつでもコール(京都市)

075-661-3755

京都市LINE
公式アカウント

<https://line.me/R/ti/p/NacPlv5UmP>

大人の救急電話相談
救急安心センターきょうと

#7119(0570-00-7119)
(24時間 365日)

小児救急電話相談
子どもの急病やけがのとき

#8000(075-661-5596)
午後7時～翌朝8時(土曜日は午後3時から)

きょう・こころ・ほっとでんわ
(自殺予防相談)

075-321-5560
(24時間)

こども相談24時間ホットライン
(高校生までの子ども及び保護者)

#7333
(年中無休・24時間)

DV相談ナビ

#8008

男性のためのDV相談

075-277-1326
(第2・第4火曜日19時～20時半)

京都市ひとり親
支援センター ゆめあす

075-708-7750
<https://yumeasu.com/>

すまいの相談
京(みやこ)安心すまいセンター

075-744-1670



料金別納
郵便

山科区に お住まいの方へ

京都市議員 ^{まつだ}松田けい子 市政報告

まつだより



まかせてください! つなぎます! ^{まつだ}だいな声を、カタチにします!

第7号
2022



公明党 ^{まつだ}京都市議員 松田けい子

〒607-8162 京都市山科区柳辻草海道町4-7 イーグルコート柳辻3アベックス202

TEL:070-2266-9499 FAX:075-330-6540

メール:omoiyari.km@gmail.com

松田けい子

検索

みなさまのご意見・ご要望をお聞かせください。
「ちっさなチカラもち」あなたの声に寄り添います。

物価高から市民生活を守る施策の実施を求める緊急要望



公明党京都市議員団は5月27日(金)、同要望を門川大作市長へ提出しました。物価高の影響を受けている市民・事業者への支援として、生活困窮者への自立相談や食料・生活用品等の支援を行っている民間団体(例えば子ども食堂やフードバンクなど)への支援、学校給食費の負担軽減など、地方創生臨時交付金を活用した取組みを求めています。

門川市長は「コロナ禍から生活を回復するため、広い視点での支援施策が大事だ」と応じました。

公明党のネットワークを活かし、市民生活を守る取組みを、さらに進めてまいります。

政策提言「子ども未来創造都市・京都を目指して—SDGsの観点から—」



公明党京都市議員団は2月17日(木)、同提言を門川大作市長へ提出しました。本年度の調査研究は、子どもに関する現状と課題を包括的に捉え、子どもの未来をどうすべきかをSDGsの観点から考察し、京都市の未来を担う子どもたちたちのためにはどのような社会であるべきか、大人は何をなすべきかを、目的としました。提言の推進・実現にむけて、議会質問や委員会質疑を通じて具体的に取り組んでいます。

「きょうとみんなの防災カード」完成!

2021年9月、決算特別委員会にて、女性防災リーダーの育成や一般の女性市民向けの講習会開催などを通じて、女性による地域防災の強化を求め、その一部が実現しました。

『きょうとみんなの防災カード』は、一人ひとりの暮らしに即した災害の備えや避難生活に欠かせない、男女共同参画の視点を取り入れた「防災カード」です。カードに書かれた「問い」について話し合い、災害時の困りごとに対応する知恵を共有し、暮らしを守る力を高めます。

家族や友人との集まりで、地域の防災訓練の場で、ぜひご利用ください。ウイングス京都の職員による講座も開催しています。



日本語教育の質、向上へ日本語学校視察

質の高い日本語教育提供へ、国が進めている制度の整備を巡り意見交換を行い、授業を視察。多様なニーズへの柔軟な対応が求められる、教員の方々の待遇改善は重要であると感じました。(2022年5月)



クリエイティブタウン化推進拠点 Umekoji MARkEtを視察

クリエイティブタウンUmekoji MARkEtは、梅小路京都西駅エリアにおいて、モノづくり・アート・食をキーワードに、次世代を育むまちづくりの新たな拠点として期待されています。(2022年5月)

※クリエイティブタウンとは、起業家や事業家、研究者、アーティストなど多様なバックグラウンドを持つ方々が集いフラットな立場で交流、まちに能動的に参画し、その知見と活動実績が蓄積され、イノベーションが連鎖的に創発することで、社会課題や産業課題を解決していくまちです。



「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワーク事務局」国際交流会館を視察

ロシアによるウクライナへの侵攻で、何の罪もない市民が犠牲になっています。このような蛮行は、断じて許されるものではありません。公明党は、ロシアが一刻も早く停戦に応じるよう、国際社会と連帯して経済制裁を強めていくとともに、国内外に避難をされておられるウクライナの方々への人道支援を強力に進めています。

京都市は、ウクライナの首都キーウ市と姉妹都市であることから、公明党京都市議員団の議会質問に応え、門川市長はウクライナから避難された方々を温かく受け入れ支援を行っていくため、幅広い企業、団体等のネットワーク組織「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワーク」を3月18日に立ち上げました。そして、生活支度金の提供をはじめ、住宅や日本語教育、就学・就労等、日本での生活に関する相談に幅広く対応するため、ワンストップ窓口を設置し、サポートを行っています。(2022年5月)



この視察調査を踏まえ、竹内ゆずる党政務調査会長へ国が取組むべき支援について要望しました。



公明党のネットワークで課題解決へ